コラボラキャンパスネットワーク(愛称コラボラ)

2号称号 遊信 第

14号 2014年3月号 コラボラキャンパスネットワーク運営委員会発行 連絡先

☆北九州市立大学国際・地域交流課 (H26.4~地域・研究支援課) TEL 093-964-4194 FAX 093-964-4221 E-mail chiiki@kitakyu-u.ac.jp

●「知りたい!語りたい! 北九州市の子ども・子育て会議」開催!平成25年11月19日(火)

平成25年度、北九州市では、子育で中の保護者へのニーズ調査をもとに、 待機児童問題や今後の北九州市の子育で支援の方向性を描いていく子ど も・子育で会議が開催されています。そこで、この重要な会議の位置づけ や、進捗状況をうかがい、子育で中の保護者を含めた意見交換の機会をつ くり、市民が自ら参加しつつ、子育でしやすい街づくりをしていくために は、何が必要かを皆で考える機会をつくりました。最初に、「子ども子育 で支援法に基づく基本指針」を読みあいました。特に「子どもの育ちに関 する理念」は、子どもが生まれながらに成長していく力と、自ら環境に能



動的に働きかけようとしている存在であること、また、子どもに対して、保護者が自己肯定感を持ちながら、子育てに向き合えるように、環境を整えたり、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びを感じるような支援が必要であることが書かれていました。

短い時間でしたが、コーディネーターの**恒吉 紀寿先生**(北九州市立大学准教授)を中心に、北九州市子ども家庭局 川邊 健課長から情報提供いただき、子ども・子育て会議委員の、内木場 豊さん(NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州)、中村 雄美子さん(NPO法人北九州子育ち・親育ちエンパワメントセンターBee)や、子育て中の保護者である、鶴田 真弓さん(北九州ワークライフバランス研究会)や中村 智香子さん(乳幼児子育てネットワーク・ひまわり プレイセンター・ハロハロ)から、夫々多様な立場での意見を聞きながら、こうしたディスカッションの場をたくさん持つことが大切だと感じました。立場は違っても、確かな子どもの育ちのために、心豊かな子育で環境を市民自ら作り出していくこと、保護者が支援されることに満足しないで、地域が元気になるような取組を続けていくために、ひきつづき、子ども・子育て会議のニーズ調査の結果や、その後の流れに注目していくことが大切です。

●菜園だより

~ひまわりの種植え~5月14日(水)11:00~14:00予定

4 号館前と青嵐門横で、多世代で交流しながら季節の花や野菜 を育てています。土作りから種蒔き苗植え体験してみません か?この日に限らず、水やり他いろいろ参加できます。詳し くはお問い合わせください。

高齢社会をよくする北九州女性の会 093-583-7604 携帯 090-1342-2094



『コラボラキャンパスネットワーク』とは?・・・2006 年 1 月から北九州市立大学で、「北九州市立大学」、「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」、「NPO法人北九州子育ち・親育ちエンパワメントセンターBee」、「高齢社会をよくする北九州女性の会」、「NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画」「NPO法人スキルアップサービス」の6団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。普段接することの少ない学生と地域の方々が北九州市立大学キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。

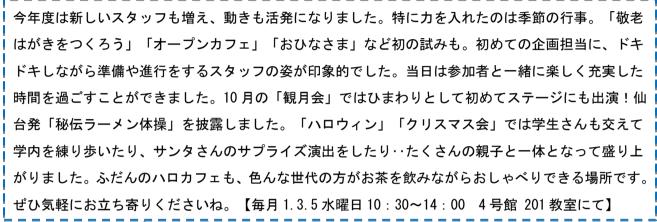
TUK ("OBSHI

ういんぐ1年 森田 千咲



私たちはハロハロカフェやミニプレーパークなどに参加し、親子と会話したり子どもたちと一緒に遊んだりしました。その他にもそうめん流しや、フシギ!サイエンスカフェ、観月会などの行事にも参加し、いつもと違う雰囲気での活動に、けがをしないかどうかなど、色々な不安を抱きながらもわくわくしながら子どもたちと一緒に楽しむことができました。また、多くの方と交流をしていく中でたくさんの知恵や知識、子どもたちからは元気やパワーをもらうことができ、今後の活動に生かしていきたいと思いました。

乳幼児子育でネットワーク。ひまわり









齢社会をよくする

●観月会 平成 25 年 10 月 18 日 (金)

8回目となった観月会。 今年も「高齢社会をよくする北九州女性の会」手作りのお月見団子やゆで栗、ムカゴご飯などの秋の味覚を味わいながら、赤ちゃんから年長者まで多彩なプログラムを楽しみました。あいにく曇天でしたが、子どもたちの熱い声かけにお月様がちょこっとだけ顔を出してくれ、感激でした。

リコーダーやゴスペルの素敵な音色にうっとり~♪ 「大道芸」「よさこい踊り」「小倉祇園太鼓」にパワーをいただき、チームワークの抜群のういんぐさんのパフォーマンスに盛り上がりました。特に、東北の皆さんの映像と一緒に想いを寄せながら身体を動かした「おらほのラジオ体操」、皆で輪になって歌った「ふるさと」では、"つながり"を実感。 スタードームの明かりの下、様々な人々が出会いつながり心を一つに力を合わせて作りあげる観月会は、自然の恵みに感謝し、日本のあたたかな文化を感じ、皆が集える幸せに感謝する一日となりました。

コラボラキャンパスネットワーク親子ふれあいルーム実行委員会が運営する

【小倉南区親子ふれあいルーム・さざん】も、平成26年2月に4周年を迎え、利用者2万組を達成しました。遊びに来た方が「お子さん、何か月ですか?」と気軽に話をする場になっていたり、スタッフが声をかけなくても、利用者が親子できれいに片づけて帰る等、「みんなで作り上げていく場所」として、定着してきたように思います。

H25年度の利用者は月1000人を超えることが多く、利用人数は増え続けています。

今年度は地域創生学群の学生さんがよく遊びにきてくださって、子どもたちも喜んでいました。新年度の「さざん」は、保健師さんや、市民センター等、小倉南区の子育て支援施設や団体と、具体的に地域連携を進める予定です。

小倉南区若園 5-1-5 小倉南生涯学習センター 1 階 ☎093-922-5036 HP http://sa-zan.jp/m/

開所日:月~金曜日 開所時間:10 時~16 時*無料